

提出順	//	発言順	//	令和 2 年 8 月 31 日
				午前・午後 / 時 40 分受領

(2 枚中No. /)

令和 2 年 8 月 31 日

安曇野市議会議員 召田 義人 様

安曇野市議会議員 猪狩 久美子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 2 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	新型コロナウイルス感染症拡大による介護事業所の現状と対策は		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

(1) 6 月に行なった市内介護事業所に対する状況調査の結果について。

- ・調査は市独自のものか。調査の目的は何か。
- ・事業所としてコロナ感染症の影響が大きかったことはどんなことか。
- ・コロナ感染症が理由で、職員に欠員が出るような状況、または利用者が利用を控える状況があったか。
- ・行政機関に要望する内容はどのようなものがあったか。調査結果を踏まえ、市として支援出来ることは何か、県や国に要望していくことは何か。
- ・コロナ感染症の不安解消のためには、PCR 検査の実施を市としても検討していくべきではないか。

(2) 厚労省通達 (第 12 報) で「特例措置」として認めた介護報酬の上乗せについて。

- ・市内事業所ではこの通達をどのように受け止めているか。通達通り行なっている事業所、「特例措置」を行っていない事業所はどのくらいあるのか。
- ・「特例措置」を行っていない事業所に対して、市として介護報酬の上乗せ額に相当する補助金を交付すべきではないか。また、国に対して「特別措置」の撤回を求める意見書を上げるべきではないか。

提出順	//	発言順	//	令和 2 年 8 月 31 日 午前・午後 / 時 40分受領
-----	----	-----	----	------------------------------------

(2 枚中No. 2)

令和 2 年 8 月 31 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 猪狩 久美子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 2 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	少人数学級の実現と特別支援学校について		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 1 1 日から 5 月 2 0 日まで行なった分散登校について、教職員をはじめ児童・生徒の反応はどうであったか、また、分散登校をどう評価しているかについて伺う。 ・ 地方 3 団体は 7 月 3 日緊急提言書を文部科学相に提出した。この中には「少人数編成を可能とする教員の確保」も含まれる。コロナ禍で少人数学級の実現とそのため教職員増の要求はさらに高まった。必要な教職員 1 0 万人増は数千億円かかると言われているが、国の第 2 次補正予算の予備費 1 0 兆円から十分まかなえる。阿部長野県知事も少人数学級を強く推奨しているが、このことについての考えを伺う。 ・ 小中学校での少人数学級と合せ、特別支援学校では設置基準がないため常に「密」状態が長年続いており、改善が求められている。安曇野市からも多くの児童・生徒が安曇養護学校へ通っている事を考えれば、「地域の子どもは地域が育てる」ことを県とともに具体的に検討していくべきではないか。 			